

地域の資源を活用した探究的学習の実現

青森県立木造高等学校深浦校舎 教頭 蛭名良一

二〇一七年七月に始まった弘前大学深浦エコサテライトキャンパスには深浦校舎も開講当時から参加させていただいております。開講記念として行われた円覚寺所蔵の古典籍についての渡辺先生の講演を聞いた生徒が興味を抱いたことがきっかけで本校に深浦町探究愛好会（古典籍和古書調査）が発足し、三名の生徒が古典籍の調査に継続して参加してきました。二〇一八年七月に行われた成果報告フォーラムには本校生徒全員が受講し、更に三年次二名の生徒が研究発表をさせていただきました。

今年度は十二月十三日に円覚寺で行われた特別公開講座「深浦の歴史と文化を学ぶ」を本校の一年次十六名が総合的な探究の時間の一環として町民の方々とともに受講しました。生徒は弘前大学・渡辺麻里子教授から円覚寺の歴史についての講演を聴いた後、同寺責任役員・海浦由羽子さんの案内で寺内を見学し、金比羅堂、本堂、寺宝館に所蔵されている貴重な文化財を見て回ったり古典籍に直接接触したりすることができました。地元にある由緒ある寺でありながらほとんどの生徒は寺内に入ることがなく、初めて入った寺内では様々な所蔵品を見て歴史の深さに驚くとともに地元の文化について学ぶことができました。

本校舎が弘前大学と深浦町と連携したこの事業に参加して三年目を迎えました。この事業を通して生徒たちは地元の魅力を再発見するとともに課題に向き合い地元の活性化について考えるという貴重な体験ができており、弘前大学と深浦町には感謝申し上げます。今後もこの事業を通して学校経営の重点目標である「主体的・探究的な学習態度の育成」「地域との連携及び協働」を達成し、生徒の「夢」の実現を目指していきたいと考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。